



令和2年度

知覧小だより

学校 HP : http://minamikyushu-city.hs.plala.or.jp/chiran_es/



最後まで

ちらん魂^{だましい}

燃え上がれ

校長 喜岡 達也



これは、今年の運動会のスローガンです。

子供たちで組織された「運動会実行委員会」で決まりました。そこで、「ちらん魂」とは？と実行委員会の子供たちに聞きました。創立150周年の時に地域の皆様からいただいた「負けるな ひっ翔べ 知覧の子」という言葉の通り、「自分の弱い心に負けずに最後まで頑張ること」という答えが返ってきました。素晴らしいことです。子供たちのそんな姿に期待したいと思います。

さて、今年の運動会は、9月27日(日)に開催されますが、コロナ禍の中で例年とは内容を変えて、時間も短縮して行うことになっています。また、参観される方も、「家族のみ」とさせていただきます。祖父母や親戚の方々も子供たちの頑張る姿を応援したいとは思いますが、このご

時世ですので、どうぞご理解ください。

そのような中でも、子供たちは、日頃の体育の授業の成果を発揮すべく、張り切っています。運動会へ向けて体育の授業にも一段と熱が入っています。

また、応援団も結成され、放課後等に練習をしています。制約がある中での応援にはなりますが、赤組 村方楓さん、白組 霜出大丞さんを団長として、頑張っています。子供たちが目標に向かって、一致団結する姿にもどうぞご期待ください。

当日は、検温やマスク着用等、感染防止にご協力の上、お越しくください。

コロナ禍でも工夫しながら 教育活動を進めていきます

新型コロナウイルスは、なかなか収束の見通しが立っていないのが現状です。これまで、学校の様々な教育活動が中止や自粛になっています。しかし、今後は、子供たちの教育活動を止めることはできるだけ避けたいと考えています。「ゼロ」にすることは簡単ですが、「ゼロ」に替わるものが何かないかを模索しながら、そして、感染防止策をしっかりとりながら子供たちに力をつけていきたいと考えています。ご理解・ご協力をよろしくお願いたします。



▲zoomを使った集会活動

修学旅行・市陸上記録会

修学旅行は、県外をやめて、県内で大隅方面を中心に実施します。「Gotoトラベル」等の制度も最大限活用します。

市陸上記録会は、水泳記録会同様、各学校で記録を測定する方法で行います。

10月の主な行事

- 8日(木) ゆずり葉読書会読み聞かせ
- 10日(土) 土曜授業日
- 23日(金) 親子読書の日
- 28日(水) 市小学校陸上記録会
(各学校で開催)

※ 市民体育大会、小京都ふるさと祭り、市文化祭、はなづら祭りは中止になりました。

おめでとう!

～市水泳記録会～

今年は、各学校で記録をとる方法での開催となりました。

- 5年男子50m自由形1位 川原 大樹
- 5年男子50m背泳ぎ2位 大田 聖湊
- 6年女子100m自由形3位 村方 楓

武岡小を「お・も・て・な・し」

～南九州市のバス利用補助金制度を利用した修学旅行第1号～

知覧町を修学旅行で訪れた鹿児島市立武岡小学校の6年生58人を、本校6年生がねぶた祭りのお囃子で歓迎しました。

猪狩頼夢さんの歓迎のあいさつに続いて、おそろいの白い法被に身を包んだ38人は、祭り実行委員会のメンバーのみなさんと一緒に、太鼓やすり鉦、笛でお囃子を演奏しました。また、できたばかりの3分の1ねぶたも登場して、祭りさながらの迫力に、武岡小学校の子供たちから大きな拍手を受けていました。来年の本番にもたくさんの方が来てくれるといいですね。



▲おそろいの法被を着て、ねぶた祭りのお囃子で出迎えました。

ゆずり葉読書会

～活動再開～

結成して今年で32年目！職員朝会をしている朝の10分間に各教室で読み聞かせをしてくださる「ゆずり葉読書会」。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、活動を自粛していましたが、2学期から感染対策を行った上で、活動を再開してくださいました。

早速、9月10日(木)は、1・2年生の教室での読み聞かせでした。子供たちも大喜びで、熱心に聞き入っていました。これからもよろしくお願いいたします。



ラジオ放送のお知らせ

MBCラジオ

MATSURI de BINGO かごしま600キロお祭りリレー

9月25日(金)22:00～24:00(2時間の生放送)

知覧小の子供たちのねぶた祭りのお囃子やインタビュー等が放送される予定です。

今年、南九州市川辺出身の俳人福永耕二の没後四十年です。それを記念して、「俳人福永耕二川辺顕彰の会」の皆さんの手によって、本校校庭に句碑が建立されました。

書かれている句は、「船酔いの 眼に花莫産の花が燃ゆ」で、第一句集「鳥語」に所収されています。火村卓造氏は、「ここで氏は風光に身を委ねている。距離を取り払いながら、『花莫産』の燃えあがる花を視る冷静さを失わない。」と解説しています。船酔いという非常事態と、美しい花莫産の火炎が見事にマッチした秀作です。

これを機に、もっと俳句に興味をもち、感性豊かな子供に育ってほしいと願っています。



船酔いの 眼に花莫産の花が燃ゆ (ふなよいのめにはなごぎのはながもゆ)